

令和6年度 第1回士別市中央公民館運営審議会議案

【日 時】令和6年6月6日（木） 午後4時～

【会 場】市民文化センター2階 会議室1

1. 開 会

2. 教育長挨拶

3. 委員及び職員紹介

4. 委員長挨拶

5. 議 事

(1) 令和5年度士別市中央公民館事業報告について

(2) 令和6年度士別市中央公民館事業計画について

(3) その他

6. 閉 会

【添付資料】

■令和5年度	中央公民館事業報告	・・・資料1
■令和6年度	中央公民館事業計画	・・・資料1
■令和5年度	中央公民館分館事業報告	・・・資料2
■令和5年度	中央公民館決算報告	・・・資料3
■令和6年度	中央公民館分館事業計画	・・・資料4
■令和6年度	中央公民館事業予算	・・・資料5
■令和6年度	中央公民館運営方針（案）	・・・資料6

中央公民館事業 報告・計画

① 番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	R5実績				R6計画		
					⑥参加人数 実施回数	⑦実績	⑧決算 (千円)	⑨成果・課題	⑩想定 人数/回数	⑪予算 (千円)	⑫前年度からの変更点
1. 生涯学習推進事業											
(1) 公民館講座推進事業											
	中央公民館 公民館講座	中央公民館	現代社会に即応した各種講座を開催し、既存文化団体の育成や新たなサークルの結成を促進するとともに、市民活動や文化活動を通じて市民交流を図る。	全市民	延べ87人	親子で参加する公民館講座（全5回） ①ドローン講座 2/18 ②親子料理教室 2/25 ③プリザーブドフラワー 3/3 ④似顔絵講座 3/10 ⑤健康ヨガ講座 3/17 高齢者向けスマートフォン教室 3/20	271	【成果】親子の絆を深める有意義な機会となった。 【課題】一時的な体験活動であり、サークル発足に繋がるような講座となっていない。	4講座 60人	372	・文化芸能をテーマにした講座を実施予定。
(2) 子ども文化活動推進事業											
	士別ふるさと体験広場 文化体験コース	中央公民館	地元文化団体の協力を得て、士別市の文化を体験する。	小学4～6年生	延べ60人 計6回	羊毛クラフト・茶道・油絵・吹奏楽・囲碁の体験活動を実施	78	【成果】文化芸術活動などの体験を通して、伝統文化の魅力や歴史を学び子どもの健全育成が図られた。 【課題】 ・開催日や開催場所による送迎 ・はしやぎすぎてしまう児童への指導の仕方。	90人	128	第1回 民謡体験 第2回 油絵体験① 第3回 料理体験 第4回 木工体験 第5回 油絵体験② 第6回 かるた体験
(3) 高齢者学習推進事業											
	高齢者学習推進事業 九十九大学 学び舎「つくも」	中央公民館	「集い・学び・交流」をとおして高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築することを目的として、基礎講座と自主企画活動を実施する。	60歳以上の市民	延べ979人	北海道学 10回 教養コース 10回 くらしコース 10回 計 30回	762	【成果】高齢者にとって有意義な学びと交流機会となった。 【課題】学びの成果を活かす機会が少ない。	延べ1,000人	877	北海道学、教養、くらしの各コースを各10回実施予定。
(4) チャレンジスクール補助事業											
	チャレンジスクール補助事業	中央公民館	望ましい生活習慣・学習習慣定着を目指して、3泊4日の宿泊体験活動を実施する。	小学4年生	11人	10/1～10/3の期間、朝日山村研修施設で実施	324	【成果】地域人材による子どもの育成を図る事ができた。 【課題】参加者数の減少	20人	420	チャレンジスクールを実行委員会主催により実施予定。
2. 市民学習自主企画支援事業											
(1) 市民自主企画事業（マイプラン・マイスタディ）											
	市民自主企画事業 (マイプラン・マイスタディ)	中央公民館	市内の各種団体やサークルが、市民を対象に自主的に企画した学習事業費の一部を支援し、学習機会の拡大及び団体等の活性化を図る。	市民団体等	2団体 88人	①主催団体：いきいき体操サークル 実施月日：4月6日(会員15人、一般3人) 4月13日(会員18人、一般3人) 支援内容：講師謝礼 20,000円 ②主催団体：士別9条の会 実施月日：8月6日(会員31人、一般18人) 支援内容：講師謝礼 10,000円 事務消耗品 5,446円	44	【成果】学習機会の拡大及び団体等の活性化に寄与した。 【課題】サークル団体の減少に伴い、制度の在り方について検討が必要である。	8団体 160人	228	・市内団体、サークル及び実行委員会が、市民を対象に自主的に企画した学習活動に対し、その事業経費の一部を支援する。
3. 市民総合文化祭事業											
(1) 市民総合文化祭											
	市民総合文化祭中央地区会場	中央公民館	市民が日常で取り組む文化活動の学習成果の発表と作品を鑑賞する機会を提供するために市民総合文化祭を開催し、市民の文化活動に対する意識を高め、地域文化の向上を図る。	市民団体等 小・中・高校生	1,500人	・11/1～11/5 作品展示 28団体7個人563点(R4年度673点) ・11/3 芸能発表 24団体・個人 84人出演(R4年度79人) ・10/24 小中学校音楽発表会 ・10/28～11/5 児童生徒作品展示(共催:士別市教育研究会) 毛筆・硬筆など226点(R4年度233点)	252	【成果】文化芸能団体が日々の活動を発表する有意義な機会となった。 【課題】参加団体の固定化・高齢化が課題。	1,500人	281	小中音楽発表会、芸能発表会、作品展示を予定。

中央公民館事業 報告・計画

① 番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	R5実績				R6計画		
					⑥参加人数 実施回数	⑦実績	⑧決算 (千円)	⑨成果・課題	⑩想定 人数/回数	⑪予算 (千円)	⑫前年度からの変更点
4. リーダー養成事業											
(1) 子ども会活動推進事業											
	子ども会リーダー養成講習会	中央公民館	士別市子ども会連絡協議会との共催。リーダーとして必要な基礎知識や技術の向上、さらには野外活動での体験学習を実施することにより、多くの経験と活動の幅を広げ、地域子ども会の活性化を図る。1市2町合同ジュニアリーダー研修会と合同開催。	小学5・6年生	延べ4人	1市2町合同ジュニアリーダー研修会(第I期・II期)共催で実施	0	【課題】参加希望者数の減少。	5人	0	1市2町合同ジュニアリーダー研修会と共催で実施予定。
	子ども会リーダーSINC交流研修会	中央公民館	SINCリーダーとしての指導力向上と仲間との交流を行う。	子ども会リーダー「SINC」	—	未実施	0		—	0	実施しない予定。
	1市2町合同ジュニアリーダー研修会	中央公民館	1市2町の小学5・6年生がリーダーとして必要な知識や技術の向上、さらには体験学習を実施することにより、友情の輪を広げ、地域子ども会の活性化を図る。	小学5・6年生	延べ6人	第I期 会場：剣淵町 第II期 会場：和寒町 第III期 会場：和寒町(中止)	128	【成果】様々な体験活動をとおり、他市町の子どもたちと友情を深める有意義な機会となっている。	3回 30人	162	他町との協議により年3回から年1回に変更。
	他市町子ども会リーダー交流事業	中央公民館	他市町リーダー研修会に参加し、子ども達の交流の輪を広げ、子ども達の成長を図る。		—	未実施	0		—	60	実施の有無について、他市町と協議予定。
5. 子どもまちづくり参画事業											
(1) 子ども議会開催事業											
	子ども議会開催事業	中央公民館	市内中学生の「まちづくり」への興味・関心を育み、子どもの自由な発想を生かした意見・要望を市政に反映させる。	中学生	士別中学校 2人 士別南中学校 2人 上士別中学校 1人 朝日中学校 1人	市内中学校から6人参加 学習会4回開催 子ども議会10月10日開催 議員報告会12月21日開催	114	【成果】子どもたちが調査・研究をとおり、市政に興味を持ち、自らの資質向上が図られた。感想として自信がついたなど前向きな感想が得られた。 【課題】 ・子ども議員の質問が重複した場合、調整が必要となり主体性を尊重できない。 ・商業施設や遊戯施設の設置、公共施設の更新など、質疑応答の形式化。 ・課題解決策やアイデアの「実践的な学び」がなく受動的となる傾向。	10人程度	167	中学生を対象とした「子ども議会」を「子ども議会～チャレンジ応援事業～」に変更。 中学生の日常生活や学校生活における身近な課題の解決策を市に発表する形式とし、子どもたちがそのアイデアを実践する中で、より達成感を高めながら自主性を育む学びとなるよう事業内容の充実に努める。
(2) こども夢トーク推進事業											
	こども夢トーク事業	中央公民館	子どもたちが市長、教育長と夢や未来への希望を語り、好奇心・探究心を高め、子どもたちの持つ豊かな可能性を広げる。	温根別小学校児童 上士別中学校生徒 士別小学校児童	温根別小学校 3人 上士別中学校 15人 士別小学校 49人	1/25 温根別小学校実施 1/29 上士別中学校実施 2/19 士別小学校実施	27	【成果】子どもの自由な発想によるアイデアを市長、教育長と語り合い、有意義な交流の場とする事ができた。	3校	36	3校実施予定 ・士別南小学校 ・糸魚小学校 ・朝日中学校
6. 団体育成・支援事業											
(1) 子どもの体験活動の充実と望ましい生活習慣の定着(社会教育課・中央公民館)											
	子ども会育成連絡協議会補助事業費	中央公民館	子ども会の事業を推進する士別市子ども会育成連絡協議会に対し、運営事業費の一部を補助する。	士別市子ども会育成連絡協議会	1,500人	9/24 第24回しべつわんぱくフェスティバル	700	【成果】子どもたちの健全育成を図る事ができた。 【課題】単位子ども会の発展に寄与する活動ができていない。	1,500人	700	【士別市子ども会育成連絡協議会より】わんぱくフェスティバルを5月に実施。

中央公民館事業 報告・計画

① 番号	②事業名	③担当	④事業内容	⑤対象	R5実績				R6計画		
					⑥参加人数 実施回数	⑦実績	⑧決算 (千円)	⑨成果・課題	⑩想定 人数/回数	⑪予算 (千円)	⑫前年度からの変更点
7. 中央公民館分館事業											
(1) 中土別分館											
	中土別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	・民謡84人 計21回 ・PG77人 計8回	・民謡講習会 4月～8月 月2回計10回(延40人) " 9月 月3回(延12人) " 11月～12月 月2回計4回(延16人) 2月～3月 月2回計4回(延16人) ・パークゴルフ講習会 6月 計1回(9人) " 7月 計2回(延16人) " 8月 計2回(延16人) " 9月 計1回(16人) " 10月 計1回(12人) " 2月 計1回(8人)	97	【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】少子高齢化に伴う参加者数の減少	・民謡20回 80人 ・PG5回 70人 ・講演会1回 20人	127	・分館だよりの発行(不定期) ・民謡講習会 ・パークゴルフ講習会 ・講演会「神楽舞」及び「君が代」に宿る意味 講師：土別神社宮司
(2) 下土別分館											
	下土別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	・PG41人 計2回 ・講習会15人 1回	・広報誌「つながり」4月～12月 9回発行 ・パークゴルフ講習会 6/4(19人)、7/8(22人) ・しめ縄作り講習会 12/24(15人)	69	【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】少子高齢化に伴う参加者数の減少	・PG2回 40人 ・講習会1回 15人	127	・広報誌「つながり」発行(不定期) ・パークゴルフ講習会及び大会(6～7月) ・しめ縄作り講習会(12月)
(3) 武徳分館											
	武徳分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	・講習会49人 計5回	・広報「武徳」5月～3月 11回発行 ・料理講習会 11/28(13人) ・料理講習会 1/25(10人) ・筋トレ講習会 1/15(7人) ・卓球ルール講習会 2/2(9人) ・料理講習会 2/9(10人)	126	【成果】各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【課題】少子高齢化に伴う参加者数の減少	・講習会50人 計5回	127	・広報「武徳」5月～3月 ・料理講習会(11月～12月) ・町民交流会(夏、冬) ・スポーツ交流会(2月)

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 公民館講座推進事業費	370,000	270,332	99,668	
親子で参加する公民館講座	370,000	270,332	99,668	当初計画より講座数が減になったことによる残
スマートフォン教室	0	0	0	企画課予算により実施したため

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 子ども文化活動推進事業費	130,000	77,791	52,209	
土別ふるさと体験広場文化体験コース	130,000	77,791	52,209	市街での体験活動を実施しなかったことによる車両借り上げ等の残

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 高齢者学習機会推進事業	878,000	762,102	115,898	
学び舎「つくも」	878,000	762,102	115,898	新たに自主企画事業を実施するサークルが発足しなかったため

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 子どもの学習・生活習慣定着推進事業費	420,000	323,894	96,106	
チャレンジスクール事業補助金	420,000	323,894	96,106	実績による残

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 自主企画事業費	227,000	43,681	183,319	
マイプラン・マイスタディ	227,000	43,681	183,319	実績による残

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 市民総合文化祭事業費	330,000	252,129	77,871	
市民総合文化祭	330,000	252,129	77,871	菊運搬料、新聞折込料の残

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 子ども会活動推進事業費	221,000	127,932	0	
子ども会リーダー養成講習会	0	0	0	
子ども会リーダーS I N C交流研修会	0	0	0	
1市2町ジュニアリーダー研修会	108,000	74,513	33,487	参加者の減、第3期中止による残
他市町子ども会リーダー交流事業	74,000	0	74,000	未実施
共通経費	39,000	53,419	▲ 14,419	実績による増

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 子ども会育成連絡協議会補助事業費	700,000	700,000	0	
土別市子ども会育成連絡協議会補助金	700,000	700,000	0	

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 子ども議会開催事業費	165,000	113,361	51,639	
子ども議会	165,000	113,361	51,639	実績による残

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ こども夢トーク推進事業費	36,000	26,635	9,365	
こども夢トーク	36,000	26,635	9,365	実績による残

科目	当初予算	決算額	増 減	増減理由
■ 中央公民館分館事業	382,500	292,062	90,438	
中土別分館	127,500	96,856	30,644	実績による残
下土別分館	127,500	69,241	58,259	実績による残
武徳分館	127,500	125,965	1,535	実績による残

令和6年度 中央公民館分館（武徳・中士別・下士別） 事業計画

月	武徳分館	中士別分館	下士別分館
通年	広報武徳の発行 新生児の祝い	委員会会議	分館だよりの発行 ※不定期
4月	第1回運営委員会 評議委員会 分館長・主事打合せ会議	公民館分館長・主事会議	公民館分館長・主事会議
5月			
6月			パークゴルフ講習会
7月	評議委員会		町民パークゴルフ大会
8月	書道作品作成 町民交流会		下士別神社祭典協力
9月			
10月			
11月	料理講習会	長者番付表作成	
12月	料理講習会 第2回運営委員会 研修・講習会		しめ縄作り講習会
1月	冬季町民交流会 講習会	分館だよりの発行 講演会	
2月	スポーツ交流会	講習会	
3月			活動反省 定期総会

令和6年度 中央公民館予算について

資料5

事業名	令和5年度		令和6年度	
	主な事業内容	予算額	予算編成の主な変更点	予算額
公民館講座推進事業	* 親子で参加する公民館講座 * スマートフォン教室	370千円	特になし	372千円
子ども文化活動推進事業	士別ふるさと体験広場文化体験コース	130千円	特になし	128千円
高齢者学習推進事業	* 学び舍つくもの運営 ①基礎講座(3コース) ②自主企画活動	878千円	特になし	877千円
チャレンジスクール補助事業	* チャレンジスクール実行委員会への事業補助(予算は社会教育課)	420千円	特になし	420千円
市民自主企画事業 (マイプラン・マイスタディ)	* 市内団体及びサークルの自主学習活動への支援	227千円	特になし	228千円
市民文化芸術推進事業 (中央地区)	* 士別市民総合文化祭の企画運営	330千円	児童生徒作品展の報償費を実績にあわせた減額 菊運搬料、新聞折込料を実績にあわせた減額	281千円
子ども会活動推進事業	* 1市2町合同ジュニアリーダー研修会 士別・剣淵・和寒を会場に各1回実施	221千円	特になし	222千円
士別市子ども会育成連絡協議会補助事業	* 士別市子ども会育成連絡協議会への運営補助	700千円	特になし	700千円
子ども議会開催事業	* 子ども議会の開催	165千円	新たに実践を取り入れる	167千円
子ども夢トーク推進事業	* こども夢トークの開催	36千円	特になし	36千円
分館事業(中士別・下士別・武徳分館)	* 講師謝礼・教材費	383千円	特になし	383千円
合計		3,860千円		3,814千円

令和6年度 士別市中央公民館運営方針（案）

市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、楽しく豊かな人生を送ることができるよう、公民館の学習環境を整備し、市民の学習機会の拡充を支援する。

【基本目標】

1. 市民が気軽に集える場所となるように努める。
2. あらゆる世代の学習機会の支援に努める。
3. 市民主体の事業運営に努める。
4. 市民に対して公民館活動の情報を的確に提供するように努める。
5. 市民が安全に学習できるよう、学習環境の整備に努める。
6. 文化団体・サークルの育成、支援に努める。
7. 中央公民館分館の支援に努める。

【職員の心構え】

公民館職員は、

1. 公民館の仕事を好きになること。
2. 市民に心を開き、気楽に交流（対話）できること。
3. 自分から進んで動くことができること。
4. 士別を好きになること。
5. そして何よりも大事なことは、一人の人間として魅力的であること。

【公民館運営】

公民館活動の満足度がより高まることをめざして、「士別市中央公民館運営審議会」と「士別市中央公民館」は、共に協議し、公民館の運営を行う。

1. 学習環境を整備する

市民の誰もが「学びたい」と思ったときに、いつでも自由に学べる場を設置・運営するのは行政の役割であり、公民館はそのための施設である。

また、公民館の運営は、障がいのある方や高齢者など社会参加をするうえで何らかの制約の多い市民に対して、特段の注意を払い運営する必要がある。

2. 人や団体（サークル）の出会いとつながりをつくる

公民館に集い学ぶことは、市民が自由に出会うことでもある。

公民館が主催する講座や教室は、講師と参加者個人が対一の関係に終始することはなく講師と参加者、参加者と職員、参加者同士の意思疎通や意見交換による相互理解をすることにより、公民館に集う市民や異世代の市民の交流も可能となる。

3. 市民の文化活動の拠点

さまざまな世代の市民が、日常生活の中で多様な文化活動を主体的に行っている。

中央公民館でも創作活動や文化活動が行われ、その成果の発表の場としても活用されており、文化活動の拠点としての役割を担う。

中央公民館は、独立した建物を持たないが、市民文化センター内に事務所を置き、職員を配置し、市民のさまざまな文化活動や学習活動が円滑に行われるよう業務を行っている。

4. 中央公民館運営審議会（以下、『公運審』）

公運審は、公民館を支え、発展させていくために大切な任務を負う。公運審委員は、市民の代表として、市民のさまざまな要望やニーズ、さらには地域課題、生活課題等を把握し、それを公民館運営（事業）に反映させるため、公民館職員と情報交換や意見交換を適宜行い、よりよい公民館を実現することが大切である。

そのために公運審委員は、より積極的に公民館と関わりを持つべきである。具体的には、公民館事業との関わりであり、次年度事業の計画・立案の段階から話し合いに加わるのが肝要である。

こうした議論の場が継続され、議論が活発化されることの前提条件としては、日常的に各委員ができるだけ多くの事業に関わりを持ち、市民の生の声を聴取し、計画立案に反映することにより、市民の求める事業展開が可能となる。

5. 公民館における「評価」

公民館の評価の目的は、よりよい公民館運営を行うことであり、公民館の評価は数値目標だけで測るべきでなく、事業内容や参加者の意識の深まり、学習成果が重要であり、単に参加者数のみで評価を行うのは意味がなく、講座等の受講者にとって有意義かつ納得・満足のできる事業につながるような評価が重要である。

また、公民館事業は「市民が主体」であり、市民の視点で事業を推進することが最も大切であることから、事業終了後のアンケートで、内容、状況、結果の検証等を実施することが必要である。その際には、目的や方法を共有するなど、創意・工夫が必要である。

【士別市中央公民館の事業】

1. 生涯学習推進事業
 - ・公民館講座　・士別ふるさと体験広場　・学び舎「つくも」　・チャレンジスクール
2. 市民学習自主企画支援事業
 - ・マイプランマイスタディ
3. 市民総合文化祭事業
 - ・中央地区市民総合文化祭
4. リーダー養成事業
 - ・子ども会リーダー養成講習会　・1市2町合同ジュニアリーダー研修会　など
5. 子どもまちづくり参画事業
 - ・子ども議会　・こども夢トーク
6. 団体育成・支援事業
7. 中央公民館分館事業